

令和5年度札幌地区の研究活動

研究部長 札幌市立栄緑小学校

校長 島 貫

静

1. はじめに

札幌市小学校長会では、令和2年度より新たな6つの専門部体制による研究を進めている。専門部は3つずつのグループに分け、研究スタートの時期を1年間ずらして取組を始めた。今年度は全ての専門部が2巡目の研究を進めており、2月グループがまとめの年度となる。昨年度までは、オンラインで研修会や研究大会を行ってきたが、今年度は、会同での実施が可能となった。



◇令和5年10月研修会◇

2. 研究計画

(1) 共同研究主題

ともに未来を創造するたくましくしなやかな「さっぽろっ子」を育む

豊かで確かな小学校教育の実現

この研究主題の設定に当たって、「札幌市学校教育の重点」そして「全連小・道小の研究の視点」の関連を整理し、今年度は以下の重点を設定した。

- 校長の役割と指導性をさらに追究し、経営ビジョンやリーダーシップを磨く。
- 今日的な課題を踏まえ、明日の学校経営に生きる研究を推進し、速やかな情報共有に努める。
- 教職員が子どもと向き合う時間を一層確保できるようにするとともに、人材育成を含め、潤いのある学校とすべく「学校の働き方改革」を進める。
- 札幌市教育委員会へ一層発信できる研究とし、信頼感に基づく互惠関係を構築する。
- 専門部6部体制の研究内容と重点、研究推進の方法について検討・検証・改善を進める。
- 具体的な取組を基にしながらも、事例研究にとどまることなく、校長の果たす役割と指導性について、明日の学校経営に資する汎用性のある研究を進め、校長の職能向上を図る。
- 各部の研究成果や各校の取組の一層の情報共有を図る。

(2) 研究組織

①共同研究推進委員会（年間8回開催・委員数18名）

6専門部の研究推進委員と研究部、担当副会長により、各専門部が研究内容等を交流・協議することを通して、相互に連携を強化し、実践的な研究を企画・運営・推進する。

②専門部研修会

「学ぶ力」育成部、「豊かな心」育成部、「健やかな体」育成部、学びの支援部、教育環境部、人材育成部の6部で構成。部ごとに研究副主題・重点を設定し研究活動を行う。

③支部研修会

行政区の10区を支部とし、学校経営に必要な研修や情報交換などに取り組む。

(3) 全市的研究の交流と発表

①4月総会研修会：令和5年4月24日（月）Webと会同によるハイブリッド方式

②10月研修会（兼 道小札幌地区教育経営研究会）：令和5年10月16日（月）会同開催

③2月総会・研究大会：令和6年2月19日（月）会同開催

(4) 研究広報の発行

共同研究の進捗状況と各専門部の調査・研究内容を全会員に伝えるため、事務局研究部が研究広報「鏈（つながり）」を作成し、共同研究推進委員会報告として、理事研修会を通して、各支部へと還流する。

3. 研究活動

今年度は、札幌市の学校教育の包括的重点を「さっぽろっ子『学び』のススメの活用」「小中一貫した教育の推進」「ICTを活用した教育の推進」に据え、教育の重点として「家庭や地域とともにある学校づくりの推進」等が示された。また、重点の基盤として「人間尊重の教育」が昨年度から挙げられている。各専門部の研究には今日的課題への取組も位置付けているので、上記の内容については各部の専門的な研究の視点から、アプローチすることになる。

また今年度も、共同研究推進委員会では研究の重点や各専門部の研究内容を交流している。各専門部の研究内容は、研究広報紙や支部研修会を通して全会員に還流する体制を継続している。

【各専門部の研究副主題と研究内容】

<p>「学ぶ力」 育成部</p>	<p>「学ぶ力」を育む教職員の主体的な動きを活性化させる校長の関わり 校長の高い見識と指導性の発揮 実効性の高い教育課程の創造と検証 「学ぶ力」育成に向けた校長の関わりと評価に関わる研究の深化 包括的重点を踏まえた「学ぶ力」育成に向けた校長の役割と指導性の解明</p>
<p>「豊かな心」 育成部</p>	<p>一人一人の個性や多様性を認め合い、自他の命を大切に 支え合いながら生きる「豊かな心」を育む学校経営の在り方 【教職員の意識付け・意識改革】や【協働（情報共有・チーム対応）】の在り方 【道徳教育】の充実や【学ぶ力・健やかな体の育成】との連動の推進 【心の居場所】【自尊感情】の育みや【小中一貫した教育】の推進 【子ども理解】の深まりや【いじめ】【生徒指導上の諸問題】の未然防止の取組</p>
<p>「健やかな体」 育成部</p>	<p>心身ともに健やかな子どもを育む学校経営の在り方 児童の運動能力及び体力の向上に関する指導の充実 授業以外で子どもの運動機会を創出する取組の充実 学校における健康に関する指導の充実 関係団体との連携及び諸課題についての研修活動の推進</p>
<p>学びの支援部</p>	<p>一人一人の教育的ニーズに応える学校経営の在り方 通常学級の中での配慮を要する児童への指導の充実 特別支援学級・通級指導教室での指導の充実 不登校児童の対応</p>
<p>教育環境部</p>	<p>未来を創る「さっぽろっ子」の育成に向けた教育環境を充実させる学校経営の在り方 新しい時代の学校の教育環境の在り方と活用方法及び校長の関わり 学校や地域の教育環境を生かした特色ある教育活動の推進とその予算編成の在り方 と執行に関する研修 学校の安全管理・危機管理・情報管理に対応する教育環境やシステムの充実改善のための研修</p>
<p>人材育成部 （今年度 66 回 道小渡島・ 北斗大会にて研究発表）</p>	<p>自ら学び続ける教員の育成と、多様な人材が活躍できる学校経営の在り方 自ら学び続ける教員の育成 多様な人材が活躍できる学校づくり</p>

4. おわりに

今年度は、感染症対応を継続しながら、当初描いていた研究推進の形を実践している。研究サイクルも2巡目に入ったことで、各専門部の運営も軌道に乗ってきた。どの専門部も「校長の役割と指導性」を中心に据えて研究を進めている。また、会場で実施した研修会では、校長同士のつながりを改めて感じる機会となった。研修会で得たものは、各校における今後の学校経営に活かされることだろう。